

## II 報告

### 令和5年度国家予算に対する提案・要望（環境局所管分）

#### 1. グリーン社会の実現

### 1-1. カーボンニュートラルの推進

»経済産業省、国土交通省、環境省

#### 1) 水素エネルギーの利活用促進

##### ○ 積極的な水素エネルギー利用者の負担軽減を推進する財政支援の拡充

- ・将来の水素需要拡大につながる、積極的な水素エネルギー利用者を創出するため、水素エネルギー利用で生じる負担を大幅に軽減する制度の創設を行うこと

##### ○ 水素発電システムの環境性向上のための技術開発及び事業化に取り組む事業者に対する財政支援の継続

- ・水素発電による電力・熱供給システムの環境性向上のための技術開発や水素発電システムの事業化に取り組む事業者に対して、これまでの成果を踏まえた新たな取り組みへの財政支援を行うこと

（参考）

採択事業：①水素CGSの事業モデル確立に関する調査

神戸市のポートアイランドをモデルケースとして、地域への水素CGS導入による、電力・熱の脱炭素化を目指す場合の、導入ポテンシャルや経済性、CO2削減効果、実現可能性、「冷熱」利用を含めた収益性向上策等について調査を実施

②水素CGSの地域モデル確立に向けた技術開発・研究

水素CGS実証設備に改良型ドライ方式燃焼器を実装し、ドライ方式での混焼対応、NOx性能の向上を目指す。また、統合型EMS（エネルギーマネジメントシステム）による事業性・環境性を考慮した運用の最適化技術確立を目指す

実施主体：川崎重工業（株）ほか

実施期間：令和3年度～令和4年度（※令和5年度以降は、液化水素の特性である冷熱や圧力を活用し、更なるコスト削減を図るため、全体システムの改良を行う）

##### ○ 燃料電池自動車などの燃料電池を搭載するモビリティや水素ステーションに対する財政支援の拡充

- ・乗用車両とともに、業務用車両（バス、トラック、タクシー、フォークリフトなど）、鉄道、船舶などの燃料電池を搭載するモビリティや高速道路内などの流通経路で水素需要が見込める水素ステーションに対する財政支援の拡充を行うこと

（参考）【普及状況】

	全国	神戸市
燃料電池自動車	5,170台(R3.3時点)	41台(R3.3時点)
次世代自動車補助金	117～210万円/台を補助	28.8～52.6万円/台を助成
商用水素ステーション	157箇所(R4.1時点)	H29.4に営業開始(兵庫区)
燃料電池バス	118台(R4.1時点)	令和4年度1台導入予定

## 1. グリーン社会の実現

---

### 2) 水素エネルギー供給体制の確立

#### ○ 液化水素の長距離海上輸送技術及び荷役技術にかかる実証・技術開発に対する財政支援の継続

- ・ 将来の大規模な水素エネルギー供給体制の確立に不可欠な技術開発に取り組む事業者に対し、継続的な財政支援を行うこと

(参考)【未利用エネルギー由来サプライチェーン構築実証事業】

概要：世界初の液化水素長距離輸送技術及び荷役技術の開発

実施主体：技術研究組合 CO2 フリー水素サプライチェーン推進機構 HySTRA (ハイストラ)

↳川崎重工業(株)、岩谷産業(株)、シェルジャパン(株)、電源開発(株)、丸紅(株)、ENEOS(株)、川崎汽船(株)

実施期間：平成 27 年度～令和 4 年度

【グリーンイノベーション基金事業／大規模水素サプライチェーンの構築プロジェクト】

概要：国際水素サプライチェーン技術の確立

実施主体：日本水素エネルギー(株) (川重 100%子会社)、ENEOS(株)、岩谷産業(株)

実施期間：令和 3 年度～令和 12 年度までの最大 10 年間を想定

### 3) 水素エネルギー産業の振興

#### ○ 国際競争力のある製品を開発し、商品化を加速するため、技術の標準化や評価技術の確立に向けた支援の拡充

- ・ 水素のコスト低減に重要となる「液化水素」の分野において、国際競争力のある製品を開発し、商品化を加速するために必要な技術の標準化や評価技術の確立を支援すること

(参考)【液化水素用機器に関する試験設備の現状、課題抽出及び将来展望に関する調査】

水素社会構築に向け必要とされる液化水素用機器の技術開発において、性能評価などの現状及び規制動向と共に、市場及び産業動向を正確に把握・評価・分析を行い、将来に向けた提言を行う

実施主体：コベルコビジネスパートナーズ

実施期間：令和 3 年度～令和 4 年度

### 4) 災害対応にも寄与する電動車の普及及び活用

- 充電インフラ整備に対する財政支援の拡充
  - ・電気自動車の普及に向けて、「クリーンエネルギー自動車・インフラ導入促進補助金」の増額など、充電インフラ整備に対する財政支援を拡充すること
- 電動車による災害時の給電活動を円滑に進めるための環境整備（受電設備改修等）に対する財政支援の拡充
  - ・停電時の備えとして、避難所となる施設などの受電設備を簡易改修し、電動車の給電機能から給電する神戸モデルの普及に向け、「クリーンエネルギー自動車導入事業費補助事業」の補助対象を施設改修にも拡充すること

## 7. 安全・安心なまちづくりの推進

---

### 7-2. 暮らしの安全・安心を守る取組みの推進

»農林水産省、国土交通省、環境省

#### 2) ニホンジカ対策

##### ○ 六甲山系へのニホンジカの侵入・定着防止対策への支援

- ・都市部近郊の貴重な自然地であり、観光地としても重要な六甲山系のニホンジカによる生態系被害、景観の悪化、土砂災害の危険性の増加等を未然に防止するために自治体等が取り組む侵入・定着防止対策に対する財政支援を行うこと